



ひろこ倶楽部だより

VOL.17

この家、だいぶ古くなつたわ。。。



家を改修して命だけは。。。と思うけど、貯金を全部使っちゃうわけにもいかないし。。



住まいのことは、すまいるネットに相談しましょう。



昭和56年5月以前のお家には、神戸市の住宅耐震診断が無料で受けられる制度があります。(条件はあり) 最低限の補強に留めた安い費用での改修方法もあるようです。改修費用にも県・市の助成制度があります。

～住宅耐震診断（無料）を受けよう～

質問：すまいの耐震化について神戸市では、現在約80%の耐震化率を10年で90%にしようという目標を掲げられていますが、これは国の決めた目標と同じ。悪質な業者が出回っていたり、耐震化工事には、とてもお金がかかりそうだからという不安から、診断を受けるのをためらっている人も多いはず。あれだけの震災にあった街ですから、まずは、耐震診断の受診率を何%とか目標を決め、無料で診断が受けられることをPRするべき。また、無料の耐震診断をPRしていった場合、診断員の育成など、診断の体制は充分ですか？

市回答

10年間で90%にするためには、13,300戸の耐震改修あるいは撤去を行うことになる。まず、耐震診断が必要で、17年度予算で戸建300戸、共同住宅20棟の予算措置、その後補正予算で戸建100戸を加えた。今年度予算では、戸建600戸、共同住宅60棟の予算措置を行う予定。

体制については、耐震診断を開始した12年当時は診断員数約30名であったが、建築士向け講習などを実施し、診断員の育成に努めた結果、現在は約50名となっている。「技術と誠意を持った信頼できる診断員」の育成は急務と考えており、今年度倍増の100名体制にしたい。

PRについては、耐震フェアや広報こうべ、出前トークなどを通じて行ってきたが、ホームページの更なる活用や、今後は、影響力の大きいテレビの活用等も検討ていきたい。

要望

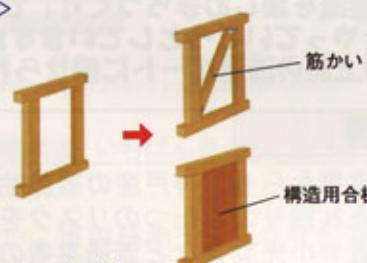
診断員を100名にするということは評価できると思います。これまで、いろいろな機会に、立派なパンフレットもいいけど、市民が知らなければ手にすることさえできないので、テレビの活用を訴えてきましたが、初めて前向きなご答弁をいただきました。耐震工事は、どうしてもお金がかかりそうだから、老後の貯金を使えないと思っている方も多いので、まずは安心できる市の診断を受けてもらって、これまでの例などを集めて、これだけの改修ならこのくらいの費用でできますよということも併せて広報に努めてください。

木造住宅の耐震改修には次のようなものがあります。

＜筋かいを入れたり、構造用合板を貼って壁を強くします＞

壁は建物を支える役割を果たします。壁の強度が小さいと地震時に建物が倒壊してしまう危険があります。

参考工事費	(通常の仕上げ材料を含む)
筋交い・構造用合板とも	
室内	8~15万円/ヶ所
外部	10万円/ヶ所



＜土台・柱・筋かいなどの接合箇所を金物等を使って堅固にします＞

建物全体が地震時に最後までねばり強く耐えるためには、柱や土台など各部材が健全であることが必要です。

参考工事費	(桧材土台取り替え)
	1.3~2万円/m ²

参考工事費：住宅金融公庫 情報提供



～耐震改修工事には助成制度を活用しましょう～

神戸市の補助制度

■すまいの耐震改修事業

昭和56年5月以前の耐震性の低い住宅を耐震改修（木造住宅では改修後の評点が0.7以上）する場合、**工事費の1/4（最大30万円）の補助**を受けることができます。

■まちの耐震性向上事業（解体撤去）

住宅密集地区で昭和56年5月以前の耐震性の低い木造住宅を解体撤去する場合、**解体撤去費の1/4（最大30万円）の補助**を受けることができます。

■家具の固定促進事業

高齢者や障害者の方が多い世帯は、**家具固定費の1/2（最大1万円）の補助**を受けることができます。

お問い合わせ・お申込

すまいるネット（下記参照）

兵庫県の補助制度

■わが家の耐震改修促進事業

昭和56年5月以前の耐震性の低い住宅を耐震改修（木造住宅では改修後の評点が1.0以上）する場合、**計画策定費の2/3と工事費の1/4を併せて最大80万円までの補助**を受けることができます。

お申込

事業のお問合せ

兵庫県県土整備部住宅復興局住宅防災課

TEL 362-4340

すまいるネット（下記参照）



すまいるネット

あなたのすまいの安心をトータルサポート

「すまいるネット」は、神戸市が弁護士会や建築士会などの団体と連携して、すまいに関するあらゆる相談に取り組んでいるセンターです。

建築、リフォーム、マンション管理、賃貸住宅の検索など、いろいろなご相談に乗っています。

営業時間：10:00～17:00

定休日：水曜日・年末年始（12/29～1/3）

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1

サンパル4階（JR三ノ宮駅東徒歩5分）

TEL：078-222-0186

FAX：078-222-0106

無料耐震診断のご相談
もすまいるネットまで

～マンション耐震改修例～



ピロティ部分を鉄骨
プレースで補強

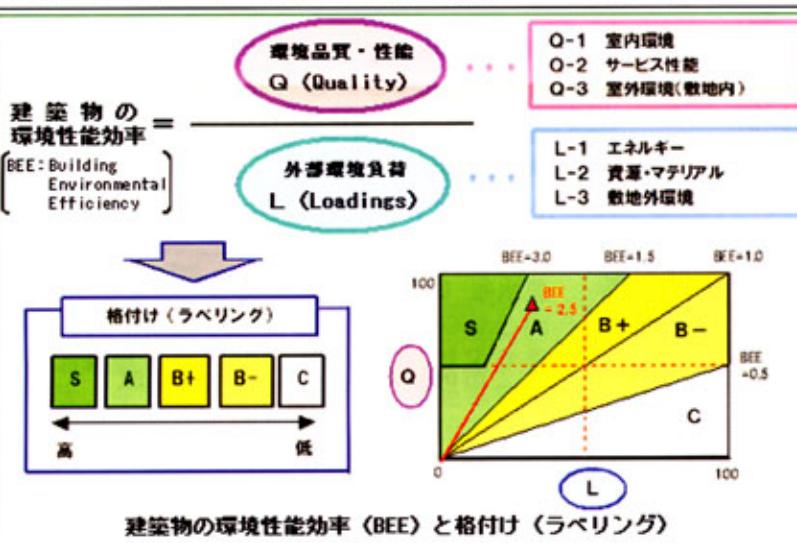


ピロティ部分に耐震
壁を増設

神戸版CASBEE（キャスビー）が始まるよ！

～CASBEE（キャスビー）～

「建築物総合環境性能評価システム」・・・建築物がどれほど環境に対する配慮がなされているかを評価するシステム。原則として自己評価による届出制度。



例えば、都心に立てた全く同じビルでも、屋上緑化など、ヒートアイランド対策をしているビルの方が環境性能効率BEE（ビー）のランクが上になります。人が居住するための快適さや便利さを、エネルギー・資源をいかに使わずに実現できるかが建築物の評価基準になります。



神戸版CASBEE（キャスビー）は、神戸の特性に合わせて評価の基準などを決め、ランク付けが行われます。ランク付けされた建築物を結果と共に公表していくことで、「環境負荷が少ないが、住み心地がいい」ビルが評価されていくものと思います。今後は、戸建住宅版も開発中ということで、環境に配慮した建築物が市場で評価されやすくなっていくことを期待します。

～①新規就農支援について～ 楽農生活センターとの連携を

質問：市が掲げる「新たな2万人雇用」には新規就農が含まれており、評価したいと思います。市内には農業学校がなく、若者や団塊の世代も含めて新規就農を支援するには、農業を学べる「場」づくりが大切。農業・漁業に従事しない私達にとっても、食べ物がどうやって作られるかを学ぶ「場」は必要。県が「楽農生活センター」を10月にオープンするようですが、活用した取り組みは？

市回答

市では「神戸市農漁業ビジョン2010」を策定し、都市住民などの新規参入者を神戸農業の新たな担い手として位置づけ支援をしていく。地産地消や農漁業体験を通じ、市民に支持・応援される農漁業の構築を図っていくことを掲げている。

新規就農希望者には、市で短期・長期の研修を行ってきている。センターで実施される「楽農学校事業」との連携を強化し、市での研修終了後に楽農学校の就農コースを受けるなど、新たな担い手の育成の場として活用していきたい。

～②イチゴやユリの輸出について～

淡河の新鉄砲ユリ「プリンセス・オーゴ」



質問：中国市場に向け、神戸産のイチゴや新鉄砲ゆりを販売していると取り組まれていると聞きます。日本のイチゴはおいしいし、北区で生産されている新鉄砲ユリ「ミス・オーゴ」「プリンセス・オーゴ」は、日本らしい美しいお花で期待がもてますが、状況は？



市回答

中国本土への食品輸出については、未だに多くの規制があることから、香港において今年2月「兵庫・神戸物産展」を開催した。「日本のイチゴは、高価だが甘くておいしい。」との評判で目玉商品となっており、1パック1000円でも好評であったとのこと。新鉄砲ユリについてはまだ実績がないが、今年度兵庫県が実施する上海でのPR展の状況をみて新たな販路を開拓したいとのことである。日本の果物は香港で人気が高く、他府県の物産展でも、桃・梨・柿が評判であったとのことで、こうした品目についても販路開拓を図りたい。中国本土へ輸出できる果物は、現在のところ、りんごと梨のみ。野菜については、あまり高価なものは売れないと言っている。

要望

農業振興という面から、香港で好評なことは喜ばしいが、あまり売れすぎて、私達の口に入りにくくなることには配慮した上で、販路開拓に努めてください。

～③生産者、市場、小売をつなぐ振興策を～

市場の卸業者の経営は大変厳しいと聞きますし、小売業についても厳しい話をよく聞きます。その一方で、農業公園の前に一昨年秋にオープンしたJA直売所「六甲のめぐみ」は、連日たくさんの人でぎわっており、これは、単に安いだけではなく、新鮮で安全・安心な農作物が品数豊富に並んでいて、消費者のニーズにマッチしているからだと思います。



今ある流通の仕組みを活用して、市内産のこうした野菜や花・果物などを市場に集め、ひとつのブランドとして小売店に流れる仕組みを作り、消費者が神戸産の農産物を簡単に買えるようにできないですか？



また、「健康を楽しむまちづくり」では、体によい食べ物を研究して「食」を楽しむまちづくりをやっていこうとしていますから、連携して体によい神戸産の食品加工品を開発し、この上述の流通ルートに乗せられないですか？

市回答

市内の小売業者からも、神戸産の農産物を目玉商品として望む声も上がっている。直売所では、生産者が流通経費と売れ残りのふたつのリスクを負っており、これを解消しなければこうした声に答えられない。今後、生産者や小売業者など流通業者の意見を聞きながら、試行錯誤して検討していきたい。

農産物の商品開発について、加工品についてはこれまで、梨を使った焼肉ソース、北神ミソ、キャベツをたくさん入れたコロッケなど、様々な取り組みが行われているものの、販売面が難しい。支援は行っていきたいが、まずは農産物そのものの商品価値を上げる取り組みを行っていきたい。



何でも気軽に声をかけ
てください。

～食と農業を考えよう～



日本の自給率はカロリーベースで40%、穀物ベースでは世界で124番目の低さとなっています。(因みに北朝鮮は70番目) 食品の輸入が増えた第一の原因は、食生活の変化であると農水省は指摘しています。

最近、BSEや食肉偽装、残留農薬など、食品の安全性に関する諸問題がクローズアップされ、また、生活習慣病と食生活との関連性の研究が進んだこともあり、食べること、そして、特に「和食」が見直されてきています。

魚やお米、豆や野菜といった日本古来の食べ物を見直し、「和食」中心の食生活に戻していくことは、元来の日本人の体の特性から見ても優れていることが研究者などによって明らかになっており、また、自給率向上にも寄与していきます。

更に、環境を考えた産業の典型的なひとつが農業でもあります。今後、産業としての農業がもっと見直されていくべきと思っています。消費者である私達にとっても、農業が継続的に発展できることを考えていかなければなりません。

ほかの国と比べてみましょう

●主な国の食料自給率(2002年カロリーベース)

日本	イギリス	ドイツ	フランス	アメリカ	オーストラリア
40%	74%	91%	130%	119%	230%

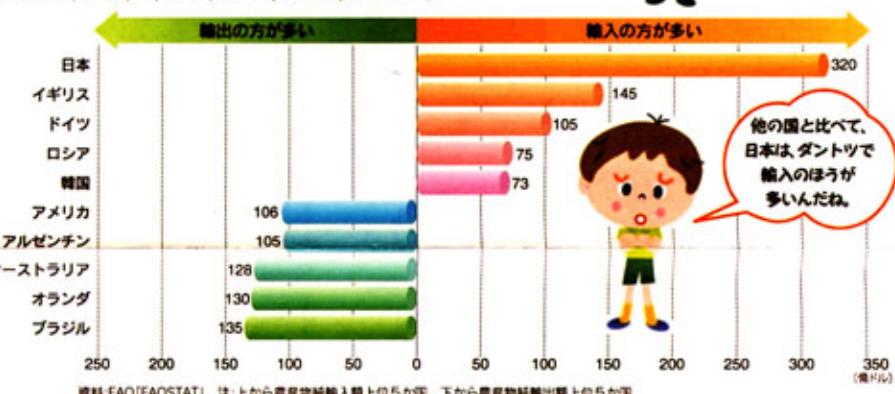
資料：農林水産省「食料需給表」、FAO[FAOSTAT]

●穀物自給率の比較(2002年)



注：穀物……米、麦、とうもろこしなどの総称
資料：農林水産省「食料需給表」、FAO[FAOSTAT]

●農産物の(輸入額)-(輸出額)の比較(2002年) (単位:億ドル)



他の国と比べて、
日本は、ダントツで
輸入のほうが
多いんだね。

～神戸市内の農漁業の状況～

	全市	農家	漁家
戸数(戸)	678,566	6,230	271
人口(人)	1,538,100	26,318	753

家畜種類	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
頭数など	2,823	7,103	2,653	4,596	400

市内耕地ベースの農作物状況

